

友好地域の皆様と共に新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう！

北海道と黒竜江省は、1986年に友好関係を締結して以来、経済貿易、農業、文化体育など幅広い分野で交流を行い、大きな成果を挙げています。

今年1月末、黒竜江省において新型コロナウイルスに関連する感染症が発生し、医療機関などで医療物資不足が深刻化しました。

北海道庁は、黒竜江省における感染症の拡大、防疫の状況などを注視しつつ、いつでもできる限りの支援を行える態勢を整えました。鈴木知事からは、両地域が長きにわたる交流を礎として深い絆と友情で結ばれており、困難な時においても、北海道民の心は黒竜江省の皆様と共にある、と心温まるお見舞いメッセージを送っています。その後、北海道の支援物資である医療用防護服（3,000着）が2月26日（水）ハルビン国際空港に到着し、黒竜江省外事弁公室から同赤十字社を經由し、医療機関などに配布されています。

双方の緊密な友好関係が、相互支援を通じて、さらに深くなりました。



海内存知己，天涯若比邻
(世界の中で、理解しあえる人さえいれば、天の果てでもご近所どうし)

疾風怒雨，倏转为朗月晴空
(暴風雨でも、突然晴れて明るい月が出ることもある)



新型コロナウイルス感染症は全世界で蔓延し始め、北海道も大きな被害を受けた地域になりました。感染症の拡大を押さえ込むため、鈴木知事は全国で最も早く「緊急事態」(2月28日～3月19日)を宣言し、道内の1600余りの小中学校の休校を要請した他、マスクの着用、咳エチケット、こまめな手洗いなどの対策を呼びかけました。同時に、道内で被害が深刻な地域へのマスクの配布など、様々な取組に努めていましたが、マスクなどの医療物資は日本全国で品薄となっており、その確保が課題となっていました。

こうした中、中国大使館や友好提携地域である黒竜江省など、中国の多くの方々から、医療用防護服、医療用防護マスクなどの防疫に必要な物資が、北海道庁に次々と届けられました。また、物資に込められた、「いかなる困難であっても、乗り越えられ、協力し合ってコロナウイルスに打ち勝つことができる。一緒に頑張ろう。」という気持ちが大変よく伝わりました。



👉 黒竜江省：
「风雨同舟 共克时艰」
(力を合わせて共に難関を乗り越えよう)

👉 遼寧省：
「鯨波萬里，一葦可航。出入相友，守望互助」
(クジラのような波も一束の葦で渡れる、友として助け合いましょう)



👉 山東省：
「青山一道，风雨同舟，北海道加油」
(同じ山を見る近隣同士、共に困難を乗り越えよう、北海道、頑張れ)

👉 在日中国大使館：
「相知在急難，獨好亦何益」
(困った時こそその友、一緒に乗り越えよう)



中国在札幌総領事館で大連市からの医療物資の贈呈式が行われた



浦本副知事と孫総領事、また贈呈式参加者との記念写真



👉 3月27日、浦本副知事は大連市からの医療物資の贈呈式に出席するため、中国在札幌総領事館を訪れ、孫総領事と会談を行った。孫総領事は、「コロナウイルス感染症が蔓延する北海道に中国各地から医療物資などが寄贈された」、「道民と中国国民とが力を合わせて粘り強く闘うことができれば」と強調した。浦本副知事は感謝を伝えつつ、「感染終息後は、道と中国各地との交流をさらに発展、活発化させたい」と述べた。



大連市からの応援メッセージ
潇潇春雨下，相约一把伞
(春雨や身をすり寄せて一つ傘)



冬来たりなば、春遠からず
北海道、頑張れ！



「百聞は一見に如かず」 北海道の歴史と名所を 知る、見る、学ぶ

① 知る、見る、学ぶ旅

国際交流員訪問視察団がオホーツク地域を訪問。「おーろら」砕氷船から流氷を眺め、博物館網走監獄などを見学し、歴史や大自然に恵まれた北海道の観光資源を体感し、大いに学びました。

左：空から北海道の大地の鳥瞰

右：筆者、キムさん、マレイナさん



② 北海道と黒竜江省の絆—流氷

オホーツク海北西部では、黒竜江(アムール川)からの真水が流れ込むことによって塩分濃度が低い海水が生まれ、強く冷たい季節風で冷やされながら南下し、流氷となります。

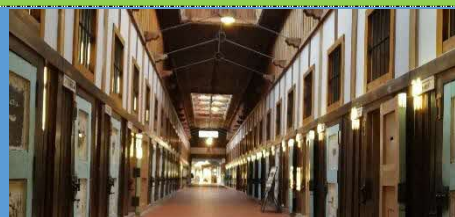
「流氷は北海道と黒竜江省の絆」、と言っても過言ではないでしょう。



③ 博物館網走監獄

放射状に広がる5棟の舎房の中央に、一か所から全体が見渡せるように六角形の中央見張所が設けられています。ベルギーの監獄を模倣して造られました。

雑居房と独居房(計226房)は、1912年から1984年までの72年間にわたり、網走刑務所の獄舎として使われました。



④ 鉄丸をつけて歩いてみよう!

囚人たちは、ペアになったほかの囚人と鎖でつながれ、逃亡防止のため、足にはこのような鉄丸をつけられていました。

⑤ もっこを担いでみよう

「もっこ」とは、森を切り拓いて中央道路を開削するため、土砂や石ころ、重い岩などを運ぶ時に使われた運搬具です。



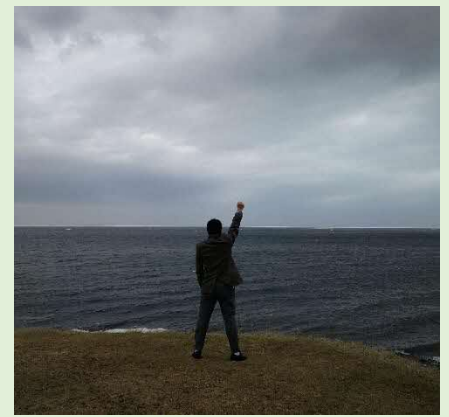


⑥知床連山、北東アジアの最果て

アイヌ語に由来する「知床」とは、「地の果て」を意味します。

左の写真は、「天都山」の展望台から眺められる、大雪に覆われた雄大な知床連山です。

右の写真は、北東アジアの陸地の最果てとも言える海辺です。



⑦日本の滝 100選「オシンコシンの滝」

左の写真は、オシンコシンの滝です。オシンコシンとは、「そこにエゾマツの群生するところ」を意味するアイヌ語に由来します。流れが2本になっていることから、別名「双美の滝」とも言われています。

右の写真は、滝の展望台から一望できるオホーツク海の流氷です。



⑧知床世界遺産センター

知床世界遺産センターは、知床の自然の楽しみ方や、自然を楽しむ上で守るルールなどを観光客に伝えるための施設です。センターの中を歩くと、知床半島に生息している実際の大きさと同じ動物たちの写真があり、まるで神秘的な大自然の中に身を置くような奇妙な体験でした。



※ 北海道観光については <http://www.visit-hokkaido.cn/> をご参照ください。
 ※ 発行所：北海道庁 総合政策部 国際局国際課 (<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/ch.htm>)
 住所：北海道札幌市中央区北3条西6丁目 TEL：+81-11-231-4111 FAX：+81-11-232-4303